

第3回 川上村統合小学校建設委員会 議事録要旨

日時：令和3年6月28日（月）15:00～16:40

場所：川上村文化センター からまつ広場

村議会社会文教委員 中嶋知明、林公上、大西たま子、由井元成、渡邊光

行政連絡員：嶋崎勝栄、杉原茂寿、井出俊司郎

主任児童委員：油井いずみ、鷹野智里

若妻会長：林靖葉 教育委員教育長職務代理：古原栄夫

教育委員：油井たまき、由井小百合、油井敏弘 第一小学校校長：神田博幸

第二小学校校長：佐々木哲也 中学校校長：小林俊男

地域連携コーディネーター：井出和夫 第一小学校PTA会長：横森茂

第二小学校PTA会長：伊藤正臣 中学校PTA会長：林幸広

保育園保護者会長：油井彩悦 村民公募委員：林博康、小林楓

理事者：村長 由井明彦 副村長 中島修 教育長 藤原克朗

事務局：中嶋豊、井出知子、若月彰一、原岳司、宮田雅和、藤原将武、中島啓隆

(敬称略)

1 開会

2 委員長あいさつ

- ・意見を聴きながら、秋に向けて調整していきたい。

3 議事

(1) 川上村統合小学校建設基本計画（素案）について

事務局 中島：

資料1について説明

第2回川上村統合小学校建設委員会での質問・意見への回答

- ・校舎の面積について

→小学校設置基準により、児童数に応じて決まる。

令和8年4月開校では、1,240 m²以上の校舎面積が必要。

- ・グラウンドの面積について

→小学校設置基準により、児童数に応じて決まる。

令和8年4月開校では、2,400 m²以上のグラウンド面積が必要。

授業内容にも影響するため、学校と調整が必要。

- ・教室の広さの基準について

→基準はないため、小学校設置基準の校舎面積を満たし、普通教室は35人の児童が一斉授業やグループ学習、ICT学習等の学習活動を展開するのに必要な広さを確保する。

→壁面等に面積十分な掲示板を設けることが重要。

→必要に応じ、水栓、流しなどの設備を設置することができる空間を確保する。

→低学年用の普通教室は、生活科、図画工作等の教科学習や合科的な学習を考慮する。

→ICT を日常的に活用できる環境とする。
→障がいのある児童が在籍することを踏まえ、特別支援学級関係室等の内容を準拠する。
普通教室の基準値

→通路幅 人が支障なく通れる寸法：55 c m
→机サイズ 新 JIS 規格対応の机：65 c m×45 c m以上
→机前後幅 人が座った場合の机と机の前後幅：55 c m
→黒板から左右端の机までの角度 人の視野角：最大 120 度
→車いすの回転スペース 回転スペース：直径 150 c m
出入口有効幅：85 c m

→収納棚 新 JIS 規格ランドセル対応 46 c m

※レイアウトイメージは資料2参照

特別教室の基準値

→障がいの特性、学習する内容等に応じた多様な指導方法のための各種の机配置が可能な面積、形状等とすることが重要。

- ・ 専門家の招聘について
→必要に応じ相談できる体制を整える。
- ・ 検討
→ランチルームの設置について検討が必要。

○質疑応答

委員：特別教室も普通教室の基準に準拠するのか。

事務局 若月：教科の状況に応じて計画していく。

委員：委員から設計士に要望するのか、設計案を検討するのか。

事務局 若月：一般的に専門家が子どもたちに最適なものを設計する。

中嶋委員 長：ランチルームの設置についてはどうか。

委員：絶対なければいけないということはない。ありきで進める必要はない。

委員：あれば活用できるが、どうしても必要とは言にくい。

委員：3点意見。1点目、周辺道路やアクセス道路の検討が必要。

2点目、教室の広さ、空調と明るさ。一番大事にしていかなければいけないのは普通教室だと思う。空調や明るさも総合的に見ていかなければならない。

3点目、小中の共有について。工夫次第で共有できる場所もあるのではないかな。

中嶋教育振興課長：プロポーザルに向けて、貴重な意見ありがとうございました。

委員：周辺道路やアクセス道路の検討について、引き渡し等でどのくらい渋滞を想定しなければいけないか。明るさについては、建設基準以上の明るさが必要ということか。現場の意見として共有できる場所の提案はあるか。

- 委 員：引き渡しはいつ、どこで起こるか分からない。児童・生徒は絶対に安全に自宅に帰したい。明るさについては、基準を満たせば良いとも思わない。天窗の設置などより明るい方が良い。
- 共有については、既存中学校の改修なども必要になるため、検討する方が良いと思う。
- 原政策調整室長：道路の関係。現状について十分だとは思っていない。
- 道の拡張、もしくは別のアクセス道路の建設、一方通行など考えている。給食室西側は道路の廃線。北側道路を回る道を考えている。
- 駐車場も十分な面積を確保できればと考えている。
- 委 員：安心、安全に関係することなので、通学路についても一度考えて欲しい。
- 原政策調整室長：わかりました。
- 中 嶋 委 員 長：中学校駐車場から住吉神社へ抜ける道について、考えはあるか。
- 原政策調整室長：広げられれば。交渉、検討の余地はある。
- 委 員：通学路について、下地区でもバス通学を検討していただきたい。防犯カメラもなく、街灯も老朽化しているため、通学路を検討して欲しい。ローラースケート場付近など死角もあり、危険な状態。統合小学校開校まで時間があることだが、現状通学しているわけなので、早く検討してほしい。
- 中嶋教育振興課長：細かい部分については、専門部会での検討となる。意見として記録して、検討したい。
- 委 員：集団登校、集団下校をしているが、子どもの数が少なくなっている。子どもだけの登下校は怖いという意見もあり、バス通学の希望もあった。また、上地区からは、小中で別のスクールバスを出してほしいという意見もあった。
- 委 員：基本構想の「(3) 豊かな心・健やかな体を育む学校」について、交流の場は具体的に施設を考えているのか。また、既存中学校はカラマツ材を使った校舎になっているが、今回の建設に関し、カラマツ材は構想にあるのか。
- 藤 原 教 育 長：交流の場について、中庭や親水公園など、子どもが自由に遊べるものを考えている。中学生との交流の場については、外で集会ができるような場も考えている。
- 中嶋教育振興課長：前回お配りした資料の18ページ、「(5) 施設・設備の特色」にあるが、木材は内装で使いたい。
- 委 員：川上村の自然を活かした交流の場を提供するということか。小学校、中学校の子どもたちとの交流も必要になってくる。
- 藤 原 教 育 長：小中学校の併設ということなので、その点子どもたちが意識できるようにしていきたい。委員から、小中学生の体格差などから交流を心配する声もあったが、それ以上の有意義な交流ができるようにしたい。
- 委 員：交流の場は大切だと思う。
- 委 員：基本構想の目指す統合小学校「(1) 安全性等安心感を変え備えた空間的に余裕のある学校」について、コロナ禍以後も想定し、備え付けの空気清浄機、エアコンを検討してほしい。

「(4) 学校種間の交流が円滑な学校」について、小中学校でどんな交流をするのか、メリットはあるのかなど、わかっていない方も多い。情報を発信することも大事。

「(5) 地域の交流・文化拠点となる学校」について、コミュニティホールなど一般の方が利用できる場所が欲しいとの意見があった。保護者の方が図書館を利用できたり、買い物ができたりするのはどうか。

「(6) 地域の防災拠点となる学校」について、防災面に関してはしっかりしたものを取り入れてほしい。二次避難がスムーズになるよう、ヘルシーパークから統合小学校までの道を整備したらどうか。また、駐車場については、旧第一保育園の跡地を整備するのはどうか。

その他として、地域柄必要となるブーツが入れられるような下駄箱。冬場プールの衛生管理について。統合後のスケートリンク造設についても質問が出た。また、第一小学校、第二小学校の跡地利用についての構想。教育委員の小学校視察について、視察の感想をお聞きしたい。

事務局 若月：小中の交流について、小中連携や、幼保小中連携などもある。国も進めているということ。

ブーツについては、子どもたちが一番使い勝手のいい大きさを考えていくということ。

原教育振興課長：学校の跡地利用について、決まっていない。建設委員会ではなく、別のところで検討をしていく。意見等あればまた出していきたい。

古原副委員長：小学校視察の感想として、第一小学校二階の広いフリースペースは、交流の場にもなるので良い。

委員：同じクラスで進級することで、固定化した人間関係に不安を感じる保護者も多い。

参観日などで保護者も教室に入る際、広さにゆとりがある方が良い。

共有スペースについて、小学生や中学生がいられる場所を分けられることも必要なのでは。

遊具について、子どもたちの発達にあったものが欲しい。

通学について、小学生に歩いてほしくないと思っている保護者も多い。また、バスの乗降場所を選択できるようにならないか。

今後の検討になるが、私服か制服か。体育の時に着替えればよいので、私服でいいのではとの意見もあった。

事務局 若月：今いただいた意見。学校サイドに任せていただきたいという意見も多かった。固定化した人間関係については、固定化を前提に考えるのではなく、教育のプロである職員を信じていただきたい。

クラス数についても、全国的な教職員不足の中、教職員の確保が難しい。

通学路については、いただいた意見について、学校職員と地域で支えていきたい。

(2) その他

事務局 中島：

今後のスケジュールについて

- ・第4回建設委員会は10月初頭開催とする。
- ・次回委員会で本日の意見を集約し、委員へ提示する。

古原副委員長：これからはグループ学習、ICT、個別学習という方向になっていく。

事務局 若月：新しい教育を目指していかないといけない。川上村発信という形で学校現場に頑張っていただきたい。

4 閉会